

## 平成 16 年 5 月 26 日(第 4 回知事定例記者会見) ※抜粋

この資料は、県政記者クラブとの会見内容を広報課でまとめたもののうち、馬頭最終処分場に関連する事項を抜粋したものです。

日時:平成 16 年5月 26 日(水曜日)午後6時 00 分から

場所:県庁特別会議室

### (質疑事項)

#### 12. 馬頭最終処分場について

### (質疑事項)

#### 12. 馬頭最終処分場について

**記者:**馬頭の県営処分場のことですが、今日、県経営者協会が、公的関与の処分場について、設置促進を求める要望書を知事に出されたということで、産業界からもそうした動きが出てきておりますが、一方で、前回の知事選で知事を応援された方が「反対の会」というものをつくったりしています。賛成・反対双方にいろいろな動きが出てきていますが、知事は今、どのように受け止めていらっしゃるのかお伺いします。

**知事:**馬頭最終処分場のことですが、今日、経営者協会から、ぜひ積極的に取り組んでほしいという要望をいただきました。産業界の皆さんとしては、栃木県は「ものづくり」県でありまして、さまざまなものを生産するのは良いのですが、後始末は、今のところ最終処分場はよその県にお任せしているという状況ですから、そういった意味で、県内に安全な最終処分場ができることはこれほど有り難いことはないということでご要望いただいたわけでございます。そのことは私共もよく承知いたしておりますので、馬頭町の皆さんの苦渋の決断に感謝の意を込めながら、しっかりしたものができるようにしていきたいと思っています。

知事選の時の話でございますけれども、この方たちがどういう考え方なのか私にもよくわかりませんが、私自身が知事に就任させていただいてから馬頭の町を訪問したのは優に10回を超えます、この3年の間で。ですから、私がいかに馬頭の皆さんと意見交換をしてきたか、わかると思います。公の立場で、知事としての立場で行ったこともあります。私的にも何回も訪れております。そうした中で、馬頭町の皆さんと意見交換をして、その上で、馬頭町の苦渋の決断に基づいて、県としても判断させていただいたということでございます。反対をしている人たちの考え方というのがありますが。

ただ、ある新聞に載っていた記事などを読むと、全く認識を誤って、反対の意見を述べている方がいますね。ですから、そういったことについては、もっと説明をしていけばよく理解していただけるかなと思っております。

ある新聞記事を見たら、北沢に不法投棄されているごみをそのまま最終処分場に持って行って埋めるんだという言い方をしているんですね。そういうことはあり得ませんので。場所が違うだけではないかと話しているのも記事に載っておりました。もし本当にそう思っているとしたら、全くの誤解です。当然、ごみについては分別をしたり、できるものは中間処理をして、安全なごみにして最終処分場に埋め立てをするということですから、全く違うんですね。ですから、その辺の誤った認識に基づく反対は、ちょっと困る話でございます、我々ももっとしっかりと説明責任を果たしていくように努力していかなければならないと思っております。